

令和5年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【大宮小学校】

⑥ 次年度への課題と改善策	
知識・技能	
思考・判断・表現	
主体的に学習に取り組む態度	

① 目 標・策		
	目 標	策
知識・技能	当該学年で習得すべき漢字の読み書きができる。(自校テストで8割以上にする。) 基本的な四則演算の計算ができる。(自校テストで8割以上にする。)	⇒ 授業等で1人1台端末を活用し、児童の知識・技能の定着を図る。
思考・判断・表現	さいたま市学習状況調査【生活習慣等に関する調査】における「ICTを活用した学び」の項目に関する肯定的な回答を前年度を維持もしくは向上させる。	⇒ 学年会や教材研究の時間を確保し、授業に関わる協議を日常化・活発化させることで、実態と課題に合った指導の方策を構想する。思考の視点やグループ協議の役割などを明確にして、授業に取り入れる。
主体的に学習に取り組む態度	「よい授業」の因子④(児童生徒の活動)の肯定的回答を前年度を維持もしくは向上させる。	⇒ 昨年度までの研究成果「安心感のある学級集団づくり」を共有・継続する。研修の時間や授業公開、授業に関する協議会を設け、授業改善を促進させる。

⑤ 目 標・策の達成状況		評価(※)
知識・技能	①結果分析(管理職・学年主任等) ②詳細分析(学年・教科担当) ③分析共有(児童生徒の実態把握) 職員会議・校内研修等	
思考・判断・表現		
主体的に学習に取り組む態度		

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(概ね達成) C 6割未満(あと一歩)

② 全国学力・学習状況調査結果・分析	
知識・技能	国語における情報の扱い方に関する事項において課題がみられた。提示された文章において、図などによる語句と語句との関係の表し方への理解について誤答が見られた。図示などにより、語句と語句の関係を表すことを通して、考えをより明確なものにしたり、思考をまとめたりする機会を重視していく。
思考・判断・表現	算数における「図形」領域に課題がみられた。2つの三角形の面積の大小を判断するために、底辺の長さや高さが等しいことに着目する問題において、誤答が多かった。公式の意味について十分な理解ができていないと考えられる。公式の成り立ちや式の意味を問う場面を設けるなどの工夫を凝らしていく。
主体的に学習に取り組む態度	児童質問紙における「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか。」において、肯定的に回答した児童が約94%と、非常に高い結果となった。日頃の学習や学校課題研修などにおいて、主体的に学習が進められるよう引き続き研究を進めていく。

①結果分析(管理職・学年主任等)
②詳細分析(学年・教科担当)

④ さいたま市学習状況調査結果・分析			
小3		小4	
小5		小6	

③ 中間期見直し(全国学力・学習状況調査結果分析後)			
	目 標		策
知識・技能	変更なし	⇒	変更なし
思考・判断・表現	変更なし	⇒	変更なし
主体的に学習に取り組む態度	変更なし	⇒	変更なし